

梅雨入り前の中耕培土作業!!

◆生育状況

5月は天候が悪い日が多く、低温だったため、播種作業は全体的に昨年より遅い開始時期となりました。

6月1日現在の作業進捗では、しんせい管内全体で、約33%の播種作業となっております。

今後の管理は、中耕培土作業や雑草防除になりますが、6月の梅雨入り前には、必ず1~2回目の中耕培土作業を終了させ、畦を高くし、大豆の根量を増加させましょう。そうする事により、梅雨入り時の湿害軽減につながります。早い時期で生育量を取ると、収量増加につながります。

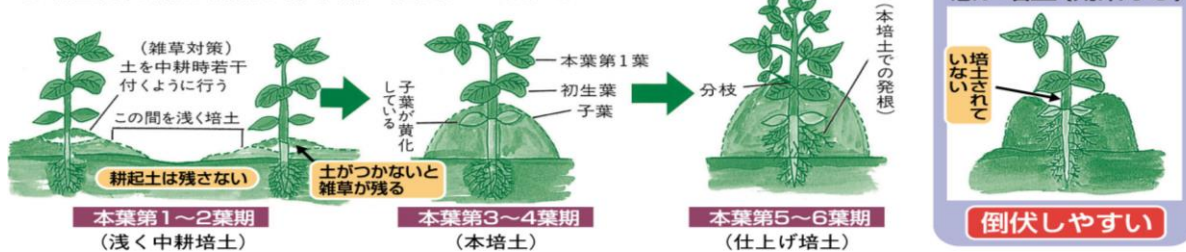
◆中耕・培土

《目的と効果》

- ・排水の効率化
- ・雑草抑制
- ・根粒増加(根域確保)
- ・酸素供給
- ・倒伏防止

	時期	ポイント
1回目	1~2葉期	子葉がかくれる程度の軽い中耕
2回目	3~4 〃	初生葉がかくれ、株元までの小培土
3回目	5~6 〃	根域確保、倒伏防止のための仕上げ培土

◎培土後の溝は明渠や排水溝へ確実につなげる



◆雑草対策

中耕・培土作業とあわせて除草剤を適期に散布し、雑草対策を行って下さい。雑草がかなり大きくなってから除草剤を散布しても、なかなか効果が出ませんので早期の対策が必要です。

《茎葉処理剤(イネ科雑草発生の場合)》… 播種後20~25日

(10a当り)

薬剤名	使用基準	摘要
ナブ乳剤	150~200ml/水100~150ℓ	ノビエ3~5葉期(枯殺に約7~10日)
ホーネスト乳剤	75~100ml/水100ℓ	〃 9~10葉期(〃 約7~10日)
ポルトフロアブル	200~300ml/水100ℓ	〃 3~10葉期(〃 約1週間)

《茎葉処理剤(広葉雑草発生の場合)》… 大豆生育期但し、収穫45日前まで

(10a当り)

薬剤名	使用基準	摘要
大豆バサグラン液剤	100~150ml/水100ℓ	大豆2葉~開花前 (イネ科雑草には効果ありません)

《畦間処理剤》… 飛散防止カバー等を使用する。

(10a当り)

薬剤名	使用基準	摘要
バスタ液剤(株間処理含む)	300~500ml/水100~150ℓ	大豆6葉期から収穫28日前まで
ザクサ液剤	300~500ml/水100~150ℓ	大豆8葉期から収穫28日前まで
ラウンドアップマックスロード	300~500ml/水100~150ℓ	大豆8葉期から収穫前日まで

◆排水対策(長雨のとき)

長雨や集中豪雨により、畦間に雨水がたまったままにしておくと、湿害を起し、その後の生育不良・雑草の繁茂に結びつきますので、ただちに排水を行って下さい。

除草剤を散布するときは周辺作物へ飛散しないように十分注意して下さい!!